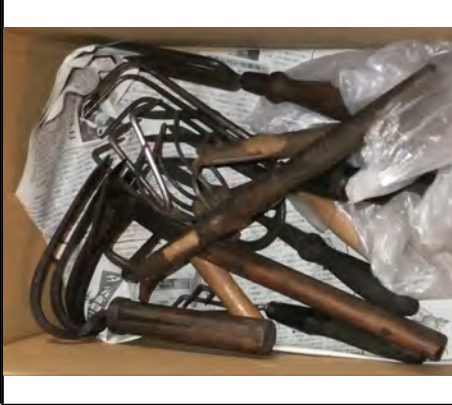
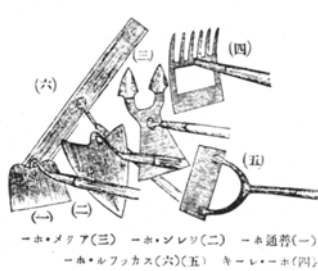
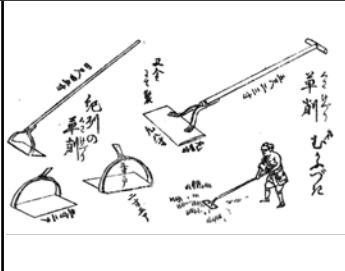


男爵記念館農機類標本台帳

一般名称: 人力農具、草削り、フォーク類		現地の通称:	
資料種別: ☐ 製品-実物 ☐ 製品-レプリカ ☐ 製品-模型 ☐ 製品図面 ☐ 写真等 ☐ 図書掲載 ☐ その他			
資料種類: ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☐ 耕耘用 ☐ 調製用 ☐ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類 ☐ 原動機具 ☐ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素 ☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他		管理プレートNo.	統一分類記号
		台帳No. D043	
		相手先番号等	
製作者・会社:		製造市・国名	
製造年_購入年,標本収集年			
使用目的・使用方法等	鋤が畦立、除草などの管理作業用に改良発展し、個々に畦立器や草削り器と言うばかりか、除草等の管理用鋤をホーと使い分けている。中耕除草作業は、旺盛な作物生育を維持する上で不可欠の作業であり、それも酷暑の炎天下で数回繰り返すため重労働になるため、古くから国内外共に各種の除草器が開発され、作物と作業様式によって形態が異なっており興味深い。その後は手押式から畜力曳カルチペータに移行したし、近年除草剤処理とトラクタ作業機に変わっているが、人力除草機は、相変わらず家庭菜園や無農薬栽培などで使われている。 また、マニユアフォークは堆肥扱い用、ヘイホークは乾草扱い用、レーキは古くは熊手とも言い、材料を掻き集める人力具である。		
利用経過 収集記録 意義等	2014年調査時に未確認		
仕様書 解説等 右に 全体図	全体図 1: 展示の園芸用草削り、他 2: 草削り類: 1985年撮影 関連図 1: レーキと多分薯堀用フォーク 2: フォーク類: 以上1985年撮影 3: 明治期に輸入された洋式ホー類 4: 江戸時代の草削り	 	
外観特色 関連図等	   		
資料の 所在	写真のみ		資料追記事項
資料管理 経過			
作業メモ 追記文			